

2025. 7. 28

報道関係者 各位

<配信枚数 2 枚>

村田製作所と立命館が STEAM 教育の推進に関する協定を締結**日本の理科教育の革新を促す教育モデルの創出と次世代人材育成を目指す**

株式会社村田製作所(所在地:京都府長岡京市、代表取締役社長:中島規巨)と、学校法人立命館(所在地:京都市中京区、総長:仲谷善雄、以下「立命館」)は、STEAM 教育*の推進を通じて、次世代を担うイノベティブな人材の育成および日本の理科教育の革新を促す教育モデルの創出に寄与することを目的に、2025 年 7 月に協定を締結いたしました。



7 月 28 日に立命館大学びわこ・くさつキャンパス内にオープンした「グラスルーツイノベーションセンター(通称「GIC(ジーアイシー)」)」ならびに、今後滋賀県守山市に開設を予定している村田製作所の子ども向け科学体験施設での連携や、STEAM 教育に関する教材・教育プログラムの共同開発や実施をはじめとした連携・協力を進めてまいります。

未来の予測が困難な時代において、デジタル・AI 技術の革新など、産業構造の変化が急速に進んでいます。経済産業省が発表した「未来人材ビジョン」からも、高度な科学技術の理解に加え、問題発見力、予測力、革新性といった非認知能力を持つ人材への需要の高まりが見受けられます。つまり、「豊かな科学技術への関心・知識および専門性を基盤に、人間や社会のあり方を俯瞰しながら、起業家精神を発揮し、世界中の人々の新たな価値創造に挑戦・共創できる人材」が求められる社会へと変容しています。

一方、国立教育政策研究所の調査によると、国際的にみても日本の小学生は理科への関心が高いにも関わらず、中学生以降はその興味が急速に薄れ、理系進路への志向が低下しています。結果として、理・工・農分野を専攻する学生の割合は低く、将来的な人材不足への懸念などが報告されています。理科好きの心を育て続け、理系の学びが社会とつながる価値を実感できる教育環境やプログラムの更なる整備が、今まさに求められています。

(出展)

経済産業省「未来人材ビジョン」(2022 年 5 月):<https://www.meti.go.jp/press/2022/05/20220531001/20220531001.html>国立教育政策研究所「国際数学・理科教育動向調査(TIMSS2019)」(2020 年 12 月):<https://www.nier.go.jp/timss/2019/point.pdf>

村田製作所はエレクトロニクス業界をリードするモノづくり企業として、将来イノベーションを起こす人材を育成するため STEAM 教育活動に取り組んでいます。2006 年からモノづくりを支える技術者の仕事内容や楽しさを伝える「出前授業」を開始し、現在ではプログラミングに必要な論理的思考を養うコンテンツなどを用い、全国の事業所近隣の学校を中心に年間 100 回ほど実施しています。さらに、2020 年には村田製作所みなとみらいイノベーションセンター内に子ども向け科学体験施設「Mulabo!」を開設。科学や電気の基本を楽しく学べる展示やイベントを行っています。また、地方自治体と連携した次世代育成の推進や、大学と理工学への興味促進に関する共同研究を行うなど、産官学連携による活動にも積極的に取り組んでいます。

立命館は、学園ビジョン R2030 に基づき、世界水準の研究・教育展開を核とした次世代研究大学ならびに次世代探究学園の構築を目指し、小学校から大学院まで一貫した人材育成に取り組んでいます。立命館高等学校が 2002 年度から現在に至るまでスーパーサイエンスハイスクール (SSH) に指定されるなど各附属校で理系人材育成の取り組みを重ねています。また、2019 年に立ち上げた社会起業家支援プラットフォーム「RIMIX (リミックス)」では、一貫教育型アントレプレナーシップ教育を国内に先駆けて推進しており、アイデアの具現化や社会への新たな価値創造ができる人材の育成を目指しています。

村田製作所と立命館は、本協定を契機に、実社会と教育現場を繋ぐ体験の循環を実現し、STEAM 教育の推進を通じて、次世代を担う人材育成および日本の理科教育を関西から変えていく教育モデルの創出に寄与してまいります。

*本協定における STEAM 教育の定義について

本協定において、STEAM 教育とは、「STEM (Science、Technology、Engineering、Mathematics) に、芸術、文化、生活、経済、法律、政治、倫理等を A (liberal Arts) として加え、各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等の横断的な学習のこと」と定義しています。

● 株式会社村田製作所について <https://corporate.murata.com/ja-jp>

村田製作所はセラミックスをベースとした電子部品の開発・生産・販売を行っている世界的な総合電子部品メーカーです。独自に開発、蓄積している材料開発、プロセス開発、商品設計、生産技術、それらをサポートするソフトウェアや分析・評価などの技術基盤で独創的な製品を創出し、エレクトロニクス社会の発展に貢献していきます。

● 学校法人立命館について <https://www.ritsumeit.ac.jp/>

立命館学園は、西園寺公望が 1869 年に開設した私塾「立命館」を創始とし、その精神を継いだ中川小十郎が 1900 年に設立した京都法政学校が前身で、2025 年に創始 155 年、学園創立 125 周年を迎えました。立命館大学、立命館アジア太平洋大学に加え、全国に 5 つの附属校を有する私立総合学園です。

本リリースの配布先： 京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ、
大阪科学・大学記者クラブ、文部科学記者会

●取材・内容についてのお問い合わせ先

株式会社村田製作所広報部 担当：上尾

TEL.075-955-6786 Email. prsec_mmc@murata.com

学校法人立命館広報課 担当：岡本、池田

TEL.075-813-8300 Email. r-koho@st.ritsumeit.ac.jp